

令和 7 年度事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで

I 法人の概況

1 設立年月日

平成 1 6 年 8 月 1 6 日

2 定款に定める目的（第 3 条）

岐阜県産農畜産物の安全性の確保、安心感の向上及び県民の健康増進に関し、必要な検査、調査、研究及び啓発を行い、もって県内農畜産業の健全な発展に寄与する。

3 定款に定める事業内容（第 4 条）

- （1）残留農薬分析、土壌分析、米食味分析その他分析検査事業
- （2）健康増進に関わる農畜産物の研究開発事業
- （3）岐阜県産農畜産物の情報提供、普及啓発事業
- （4）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

岐阜県（農政部農政課）

5 会員の状況

（令和 8 年 3 月 3 1 日現在）

種 類	当 期	前期末比較増減
正 会 員	1 1 団体	—
賛助会員	4 団体	—
合 計	1 5 団体	—

6 事務所所在地

岐阜市宇佐南 4 丁目 11 番 5 号

7 役員等に関する事項

（令和 8 年 3 月 3 1 日現在）

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
理 事 長	平工 孝義	非常勤	学識経験者
理 事	櫻井 宏	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長 ぎふ農業協同組合代表理事会長
理 事	志田 浩一	非常勤	飛騨農業協同組合代表理事組合長
理 事	堀 智考	非常勤	岐阜県農政部長
理 事	西津 貴久	非常勤	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学応用生物科学部長
理 事	雨宮 功治	非常勤	学識経験者（一般社団法人岐阜県農畜産公社理事長）
監 事	西村 寿文	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長
監 事	川村規明生	非常勤	岐阜県農業協同組合中央会専務理事

- ・理事：現在数 6 人（定款第 2 1 条第 1 項第 1 号による定数は 4 人以上 1 0 人以内）
- ・監事：現在数 2 人（定款第 2 1 条第 1 項第 2 号による定数は 2 人以内）
- ・任期：2 年（令和 7 年 6 月 3 0 日～令和 9 年 6 月の通常総会終結時）

8 職員等に関する事項

(令和8年3月31日現在)

職員の区分	人 数	備 考
職 員	6 名	管理部門2名、事業部門4名
派遣職員	1 名	
臨時職員	1 名	事業部門1名 (R7.12～R8.3)
計	8 名	

II 令和7年度事業の状況

1 農産物の安全性確保及び品質向上に関する業務

(1) 残留農薬分析業務

ア スクリーニング分析（多成分一斉分析）

(ア) 分析件数

分析件数は全体で749件と、前年実績を上回ったが、計画値には及ばなかった。

	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 物	130 件	111 件	85.4%	120 件	92.5%
会 員	127 件	109 件	85.8%	114 件	95.6%
一 般	3 件	2 件	66.7%	6 件	33.3%
園芸作物	670 件	638 件	95.2%	606 件	105.3%
会 員	667 件	636 件	95.4%	605 件	105.1%
一 般	3 件	2 件	66.7%	1 件	200.0%
そ の 他	0 件	0 件	—	1 件	—
会 員	0 件	0 件	—	0 件	—
一 般	0 件	0 件	—	1 件	—
合 計	800 件	749 件	93.6%	727 件	103.0%
会 員	794 件	745 件	93.8%	719 件	103.6%
一 般	6 件	4 件	66.7%	8 件	50.0%

(イ) 分析品目数

年間75品目の分析を行った。（うち2品目は新規品目）

現在161品目の分析が可能となっている。

分析件数	品 目 名
50件以上	トマト、ほうれんそう、玄米 (3品目)
10～49件	苺、かき、だいこんの根、ねぎ、きゅうり、小松菜、さといも、なす、枝豆、かぶの根、たまねぎ、茶、ブロッコリー、さつまいも、小麦、じゃがいも (16品目)
10件未満	なばな、しゅんぎく、みずな、みかん、キャベツ、かぶの葉、人参、モロヘイア、未成熟いんげん、スナップエンドウ、未成熟そら豆、かぼちゃ、メロン、レタス、未成熟さざげ、甘長とうがらし、うめ、もも、いちじく、日本なし、ぶどう、栗、白菜、りんご、しいたけ、ピーマン、だいこんの葉、ごぼう、にんにく、オクラ、キウイフルーツ、ゆず、ブルーベリー、やまのいも、大麦、だいず、あおうり類、キクイモ、ニガウリ、アスパラガス、はこべ、サンショウの果実、タアサイ、びわ、ズッキーニ、えんさい、パプリカ、ずいき類、はっさく、なつみかん、レモン、ニラ、かつおいらす、すだち、 <u>キウイフルーツの葉</u> 、 <u>いよかん</u> (56品目)

(ウ) 分析結果

分析試料のうち、検出あり（基準値の1/10以上）と報告した試料の割合は前年実績より上回ったが、特に問題となる事案はなかった。

区 分	全 体	検出あり（基準値1/10以上）	
		年間実績	前年実績
分析試料数	749 件	52 件 (6.9%)	42 件 (5.8%)
報告成分数	236,421 成分	60 成分	45 成分

イ 単成分分析

単成分分析は、スクリーニング分析結果による追跡調査等、特別な目的を持って行う分析であり、件数は年度毎に変動があるが、前年度実績を大きく下回ったものの計画値と同数であった。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	30 件	22 件	73.3%	16 件	137.5%
園芸作物	30 件	31 件	103.3%	23 件	134.8%
そ の 他	10 件	17 件	170.0%	70 件	24.3%
合 計	70 件	70 件	100.0%	109 件	64.2%

(2) かび毒分析業務

分析件数は前年実績、計画値をともに上回った。

区 分	年間計画	年間実績	計画比	前年実績	前年比
小麦他	50 件	61 件	122.0%	55 件	110.9%

(3) 土壌分析業務

分析件数は全体で2,793件と、前年実績、計画値をともに下回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
A 1 (7 項目)	755 件	960 件	127.2%	903 件	106.3%
A 2 (7 項目)	2,205 件	1,819 件	82.5%	2,077 件	87.6%
B (3 項目)	20 件	14 件	70.0%	17 件	82.4%
簡易 (2 項目)	20 件	0 件	—	13 件	—
合 計	3,000 件	2,793 件	93.1%	3,010 件	92.8%

(4) 米食味分析業務

分析件数は前年実績、計画値をともに上回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
玄 米	200 件	206 件	103.0%	201 件	102.5%

(5) その他分析業務

DNA及びカドミウム分析については、アウトソーシングにより実施。

分析件数はともに前年実績と同程度で、計画値を下回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
DNA	80 件	72 件	90.0%	73 件	98.6%
カドミウム	80 件	71 件	88.8%	73 件	97.3%

2 農畜産物の認定、認証及び調査に関する業務

(1) 特別栽培米生産管理工程確認の評価業務

前年度に引き続き、ぎふ特別栽培米取扱要領に基づく生産管理工程の確認業務について、全農岐阜県本部より諮問を受け、その評価業務を実施した。

＜評価業務内訳＞

実施日	評 価 対 象 工 程
R7. 4. 15 R7. 6. 12 R7. 8. 20	令和 7 年産ぎふ特別栽培米 確認申請書承認工程
R7. 12. 18	令和 7 年産ぎふ特別栽培米 栽培管理・確認記録承認工程及び 精米・玄米袋表示原簿作成工程
R8. 3. 23	令和 8 年産ぎふ特別栽培米、栽培管理・確認記録承認工程及び 精米・玄米袋表示原簿作成工程

3 健康増進に関わる農産物及び食品の開発・研究等に関する業務

(1) 固形培地耕栽培に対応した病虫害防除対策技術研究事業

ア 研究の目的

従来の土耕栽培に比べ固形培地耕栽培は、栽培労力軽減や土壌病害回避が出来る栽培法として開発され普及が進んでいる。一方、本栽培方法は「人工培土を使用」し、かつ「根圏が制限される」など根域の環境条件が特異であるため、土壌処理農薬については適用があっても、その使用について安全性の確認が必要となっている。

特に夏秋トマトや夏秋ナスで普及を進めている 3 S 栽培（ナス科果菜類隔離型少量培地耕栽培）では、培地を再利用する要望もあり、土壌消毒剤の適正な使用方法について早急に検討する必要がある。

イ 研究期間

令和 3 年度～令和 7 年度（5 年目）

ウ 令和 7 年度の研究内容

前年度に引き続き、3 S 栽培に適したカーバマナトリウム塩液剤の処理方法を検討し、総合的な殺菌技術を確立する。

・実 施 方 法：県農業技術センターとの共同研究として実施する。

当センターでは、技術確立のための農薬分析の一部を担う。

エ 実績等

適用上可能な使用方法で、より効果的な消毒効果を期待してかん水処理後にビニル被覆する方法を試した。

センターでは、土壌 13 点、浸漬液 9 点、トマト 1 点の分析を実施し、土壌中濃度の消長、浸漬液への溶出濃度、及びトマトの残留濃度を確認した。

(2) ISO認定取得事業

令和7年6月にISO認定業者からサーベイランス審査を受審し、特に問題となるような指摘事項は無かった。

なお、ISO/IEC17025 認定範囲試験の公平性の確保については、会員・役員・認定範囲試験要員のいずれにおいても、問題になるような事案はなかった。

(3) 業務カイゼン調査研究事業

ア 令和7年度の研究内容

- 一斉分析方法の最適化（コストの削減、成分の見直し）
- 一斉分析では分析困難かつ使用頻度の大きい成分の分析法の確立

イ 実績等

- ・ 令和7年4月7日に第1回カイゼンミーティングを行い、改善テーマの絞り込みを行った。

【テーマ案】

- ①グリホサート及びグルホシネートの分析対象作物の拡大〈継続〉
- ②一斉分析法の変更による経費節減〈新規〉
- ③勤怠システムと給与システム一体的導入の効果

- ・ 令和7年9月29日に第2回カイゼンミーティングを行い、進捗状況を報告し、課題について議論した。

- ・ 令和8年3月24日に第3回カイゼンミーティングを行い、今年度の成果を取りまとめた。

①グリホサート及びグルホシネートの分析対象作物の拡大について

毎年依頼がある「だいず」について、添加回収試験を実施し、誘導化法による分析法を確立することができた。

ほうれんそうでは再現性の低下やグルホシネート（親）の回収率不足といった課題が残ったため、令和8年度も引き続き改善テーマとして研究を進める。

②一斉分析法の変更による経費節減について

一斉分析の経費節減に向け、液体クロマトグラフ質量分析計用の試料は、膜ろ過精製を実施せずに希釈のみとすること、ガスクロマトグラフ質量分析計用試料の精製法を固相抽出ミニカラムとすることにより、従前の簡便性を維持したまま、年間200万円弱の経費節減を図ることが可能になった。この結果を踏まえ令和8年度から新たな分析法で対応する。

③勤怠システムと給与システム一体的導入の効果について

勤怠システムと給与システムを一体的に導入した場合に必要な経費について複数社から情報収集し、経費節減の点で効果的なケースを検討した。

4 岐阜県産農産物の情報提供・啓発に関する業務

(1) 普及啓発業務

前年度末に各JA担当者に対して実施した土壌分析の効果、活用等についてのアンケート調査の結果を取りまとめ、「ぎふ農研NEWS Vol.10」に掲載するとともに、全農岐阜県本部主催の「食の安全研修会」(R7.5.13)において、「ぎふ農研NEWS Vol.10」を活用して土壌分析の意義及び分析結果の活用の流れ等について周

知した。

また、県外の農業関係団体（3団体）からの視察研修を受入れ、当センターの活動について説明した。

（2）情報提供業務

インターネットホームページの内容を更新するとともに、5月1日付けで「ぎふ農研NEWS Vol.10」を、11月1日付けで「同 Vol.11」を発行した。

5 会議に関する事項

（1）総会の開催

・第63回通常総会

（ア）開催日：令和7年6月30日（月）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館2階 大会議室

（ウ）議 事：令和6年度事業報告、決算報告、任期満了に伴う役員の改選

・第64回臨時総会

（ア）開催日：令和8年3月5日（木）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館4階 J A全農岐阜役員会議室

（ウ）議 事：令和7年度収支補正予算、令和8年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、令和8年度収支予算、役員(理事)の選任、職務執行状況報告（令和7年度事業実施見込）

（2）理事会の開催

・第1回理事会

（ア）開催日：令和7年6月11日（水）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館2階 J A岐阜信連役員会議室

（ウ）議 事：令和6年度事業報告、決算報告、第63回通常総会の開催

・第2回理事会

（ア）開催日：令和7年6月30日（月）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館2階 大会議室

（ウ）議 事：役員改選に伴う理事長の選定

・第3回理事会

（ア）開催日：令和7年10月28日（火）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館2階 J A岐阜信連役員会議室

（ウ）議 事：職務の執行状況報告

・第4回理事会

（ア）開催日：令和8年2月3日（火）

（イ）開催場所：岐阜県農協会館4階 J A全農岐阜役員会議室

（ウ）議 事：令和7年度収支補正予算、令和8年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、令和8年度収支予算、職務執行状況報告（令和7年度事業実施見込）、第64回臨時総会の開催

・理事会決議の省略（書面）

（ア）決議日：令和8年2月19日（木）

（イ）議 事：第64回臨時総会の議案に「役員(理事)の選任について」を追加すること

・理事会決議の省略（書面）

（ア）決議日：令和8年3月19日（木）

（イ）議 事：理事長の選定（平工理事長の辞任に伴うもの）